テレビ番組【ウルルン滞在期】

テーマ「アマゾン 絶滅寸前のアワンフ族に黒田勇樹が出会った」

交流で成長

番組の特徴的場面

- 三日目のハンモックの話とババさん プラエさんのコミュニケーション
- 最後の石抜の話

番組全体として
伐採で森がなくなる。
↓
二つの部族の派権争い
↓
どうしたら2つの部族が仲良くくらせるのか？

黒田個人として
・コミュニケーションをどうとるのか
↓
克服 絵を書くことでコミュニケーションをとれるように

克服 2つの部族に話し合ってもらう
その中間役的な立ち位置の黒田

司会者の役割 ふりかえり（リフレクション）
・話をくわしくほりかえす（体験談聞く）
・話の整理 ＝ 疑問→深くさぐる
・教訓的 教えを与える（石抜）
・久本 →うるさいだけ

導入
ベースキャンプへ
・途中で森から不法に切り出された木
↓
問題 開発が2つの部族を苦しめている。
→どうしたら仲良くくらせるか

→

展開 アワンフ族の村にて

1日目
全く言葉通じない
→いくつかの言葉で名前覚える
＝少しうちとける
but! プラエ人村に入れてない

→ スタジオ →

二日目
・コミュニケーション成立（絵）
・プラエさん近付いてくれる
・ハンモックを作ってくれる
↓
三日目
・ババさんとプラエさんのコミュニケーション
・帰る→みんなで拍手
←
まとめ
黒「この木も伐採されたものなのかも？」
石「1人2人の力じゃ変わらない、でも君のおかげで何か変わったかも、変わる可能性をのこしたかもしれないんだよ。」

ある問題、課題を自分の力で解決していく
→その課程で成長する

テレビ番組【ご近所の底力】

テーマ「もし、大地震が起こったら？
どうすれば地震に強い町になれるのか？」

千住仲町 ＝ 最も地震に弱い町
"どうやったら地震に強くなれるのか？"

① 防災知恵袋 あれば憂いなし
② 老いては中学生に従え
③ 火のあるところにバケツを立てる
→ 3つとも目 無理
↓
話し合いによって一つに決める。

番組の特徴的場面

- 賛否を問うところ
- 最後の話し合い

導入「避難訓練をやってみた」
・千住仲町＝最も地震に弱い町
・避難訓練 →課題が見えた

① 何を持ち出すのか
② 誰が助けるのか
③ 火事の備え

消防研究所理事長

⇒

展開
解決策①「防災知恵袋」
〃 ②「中学生を主力に」
〃 ③「バケツおく」
教える → 賛否を問う
→意見でたずねるの形式

⇒

まとめ
・3つのなかでどれを選ぶのかの合意形成
→話し合いで1つにしぼる
→発表 ちなみに②
↓
その後
中学校を訪れ育成を依頼。主婦も学ぶ

役割
・問題点を明確にする
・議論をまとめる（賛否のところ）
・専門知識の教授・解決策の提示

ある問題に対し、教師から、複数の解決策が出され、その中で社会的にどれを選ぶとよいか（どれを選ぶべきか）を考える。

テーマ
参加者の試練
試練の克服
番組展開
司会者の役割

学力・目標
学習課題
課題の解決
学習過程
教師の役割

社会科授業【トライやるウィーク】

目標
・大人の生き方を学び、社会で「生きる」力を身につける
・社会における仕事のたいへんさとそれをこなす人々のことを知り自分を成長させる

課題 仕事をするのではなく、仕事をする上でのマナーや態度を知る。
社会で生きるとはどういうことか？ 大人はどうやっていきてるのか？

解決 実際の職場での体験活動を通して自ら学んでいく。

1日目
・販売。せりの見学・掃除。
→つかれた。やることもわからずうろうろしていた
⇒
二日目
・入出荷作業
・道具修理
→職場になれてきた
⇒
三日目
・ハリセンボン
・臭いが…
・できたときはうれしかった
⇒
4日目
・製氷運航
・サザエ放流
→簡単な仕事ではないと思った
⇒
五日目
・漁・販売
→船酔いがえらい
⇓
まとめ
・大人のやってる仕事の大変さに気づけた

簡単な作業を通して、慣れていく

楽しいことも経験

ここからは大変な仕事

大事なことに気づく

授業のヤマ場

- 最後のふりかえり まとめ。

教師の役割
・生徒と職場の間をとりもつ（環境づくり）＝体験の支援
・ひたすら見守る
・ふり返りの場をつくる。

社会科授業【明治六年の政変】

◎複数の資料を読み取ったり、自分の考えを根拠を明確にして、説明できる。

・大久保と西郷は、仲が良かったのに、なぜ西郷は政府を辞めたのか？
・大久保と西郷、どちらを指事するのかの社説を書こう。

西郷と大久保の考えを資料から読みとる ＋ 発表などの活動
⇒ 二人の考えのちがいをさぐる ⇒ どちらに賛成か？

導入「西郷と大久保」
・明治にはどんな人がいた？
→西郷、大久保登場
・2人の共通点とちがったところ
（国内にいたか、海外行ったか）
・手紙と「何て声をかけただろう」
（↳共感的理解）
⇒2人はめっちゃ仲良い
but, 西郷政府やめる
⇒ MQ なぜ???

→

展開 2人の主張・考え方
・グループで資料から2人の考えをさぐっていく
→発表。
（欧米に行った、国内にいたということが見えてくる
課題の解決と主張し意見が対立）
・SQ 2人は本当に対立していた???
→目指すところは同じ
◎生徒の考えをゆさぶる

→

まとめ 新聞記者です
・どちらを支持するのかの社説を書かせる。
（当時の時代状況に立たせる）

授業のヤマ場

- 2人は対立していたのか？
- 社説をかくところ。

学生番号（B151227）学部・コース（社会系コース）氏名（黒川湧暉）

学生番号（B151633）学部・コース（社会系コース）氏名（太田さくら）